

事務事業マネジメントシート (21年度実績と22年度計画)

22年度予算確定後 平成 22 年 月 日 作成  
 21年度決算把握後 平成 22 年 月 日 作成

事務事業名		ふれあいスポーツ広場開催事業				<input type="checkbox"/> マニフェスト関連 <input type="checkbox"/> 全庁横断課題関連 <input type="checkbox"/> 集中改革プラン関連			
総合計画体系	政策	4	みんな元気で笑顔あふれるまちづくり			所属部	教育委員会	課長名	西川正則
	施策	20	生涯学習の推進			所属課	生涯学習課	担当者名	中島 仁
	基本事業	67	学習・スポーツの啓発			所属班	スポーツ振興班	(内線)	1505
予算科目		会計	款	項	目	事業連番	法令根拠	成果優先度評価結果	1
		1	10	6	1	10774		コスト削減優先度評価結果	12
終了、開始年度		<input type="checkbox"/> 21年度で終了 <input type="checkbox"/> 22年度から開始		事業期間		<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返(開始年度 14 年度) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ( ~ 年度)			

★事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細、期間限定複数年度事業は全体像を記述)

【事業の内容】 (開始した背景・きっかけ・今後の状況変化を含む)	・体育指導委員(毎回5名)を中心に行うニュースポーツ教室で毎月第1、第3土曜日午前中2時間、老若男女問わず無料で自由参加できる。 平成12年スポーツ振興基本計画の制定により体育指導委員協議会でスポーツの普及の必要性と方法を検討した結果、スポーツ未実施者の掘起こし、住民間のニュースポーツによる交流を目的に、平成14年度から開始された。 近年は学校のクラスレクリエーションや地域のレクリエーション大会などへも活用のひろがりを見せている。
【業務の流れ】	・毎月の体育指導委員会議で出面(5名)職員1名を決める、土曜日の9時30分ころから準備を行う、受付を行う、参加者にニュースポーツの指導などを行う、12時をめどに終了して片付ける、参加回数が10回になった参加者に賞品を渡す。
【主な予算費目】	・報償費(大会賞品・参加賞)
【意見や要望】 関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?	地域の体育委員や、PTA委員に選ばれた人たちが、地区やクラスでのレクリエーション大会を開催する時の種目選定、ルールの習得に來られ評価を得ている。

1 現状把握の部 (DO, PLAN)

(1) 事務事業の目的と指標

① 手段(主な活動) 21年度実績(21年度に行った主な活動) (DO)	22年度計画(次年度に計画している主な活動) (PLAN)
体育指導委員の主導により、ヴィーブルのサブアリーナにてニュースポーツ教室を開催した。1年間(16回の開催)で162名の参加があった。	
④活動指標(事務事業の活動量を表す指標)=①の指標	(単位)
⇒ ア 実施回数	回
	イ 実施場所
	箇所
② 対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等	⑤対象指標(対象の大きさを表す指標)=②の指標 (単位)
合志市住民、合志市内企業在勤者	⇒ ア 人口
	⇒ イ
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)	⑥成果指標(意図の達成度を表す指標)=③の指標 (単位)
相互の交流とさまざまなニュースポーツを知るきっかけとなる。	⇒ ア 参加者数
	⇒ イ
*⑥成果指標設定の理由と平成22年度目標値設定の根拠	

(2) 各指標・総事業費の推移		単位	19年度 実績(決算)	20年度 実績(決算)	21年度 目標(当初予算)	21年度 実績(決算)	22年度 目標(当初予算)	23年度 予定	24年度 見込
④ 活動指標	ア 回		20	18	24	16	24	24	
	イ 箇所		2	2	2	1	2	2	
⑤ 対象指標	ア 人		53909	54518	55124	54856	55732	56281	
	イ								
⑥ 成果指標	ア 人		409	278	420	162	425	430	
	イ								
投資 入 量	事業 内 訳	国庫支出金	千円						
		都道府県支出金	千円						
		地方債	千円						
		その他	千円						
		繰入金	千円						
		一般財源	千円	0	0	30	29	30	30
	(A) 事業費計	千円	0	0	30	29	30	30	0
	(A)のうち指定経費	千円							
	(A)のうち時間外、特勤	千円							
人件 費	正規職員従事人数	人	5	6	6	6	6	6	
	延べ業務時間	時間	35	39	39	39	39	39	
	(B)人件費計	千円	139	156	155	155	155	155	
トータルコスト(A)+(B)		千円	139	156	185	184	185	185	0

総トータルコスト  
全体計画  
～ 年度

(期間限定複数年度のみ記載)

0

0

0

事務事業名	ふれあいスポーツ広場開催事業	所属部	教育委員会	所属課	生涯学習課
-------	----------------	-----	-------	-----	-------

## 2 評価の部 (SEE)

\*原則は21年度の事後評価、ただし複数年度事業は21年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	①21年度目標達成度評価 事務事業の前年度実績は前年度目標値を達成したか、未達成の場合その原因は？	<input type="checkbox"/> 達成した	<input type="checkbox"/> 達成しなかった ⇒【理由】 ↷
	②22年度目標達成見込み 事務事業の本年度目標値に対して本年度の見込みはついているか？	<input type="checkbox"/> 目標達成見込みあり ⇒【理由】 ↷	<input type="checkbox"/> 目標達成は厳しい ⇒【理由と対策】 ↷
有効性評価	③成果の向上余地 次年度以降にこの事務事業の成果を向上させる余地はあるか？成果が頭打ちになっていないか？	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】 ↷	<input type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】 ↷ PR方法の充実により成果向上の余地がある。 参加者の多くが高齢者であるため、交通手段等の関係で市内東部の住民の参加に偏っている。
	④類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか？類似事業との統廃合ができるか？類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか？	<input type="checkbox"/> 他に手段がある ↷ (具体的な手段、事務事業) <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 ↷ <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】 ↷
効率性評価	⑤事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 ↷ 最少人数で対応している。
	⑥人件費(延べ業務時間)の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずにより正職員以外の職員や委託できないか？(アウトソーシングなど)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 ↷ 職員は最少人数で対応している。
公平性評価	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】 ↷ 現在、無料で実施している。自由参加なので公平・公正であると考えられる。もし、有料化し参加者の減になれば意図と結びつかなくなる。
役割分担評価	⑧行政の役割分担の適正化 事務事業のやり方や手段においてこれまでの行政、市が行ってきた範囲を住民や地域・団体に移行出来ないか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 ↷	<input type="checkbox"/> 役割分担は適正である ⇒【理由】 ↷

## 3 評価結果の総括(SEE) ※事務事業全体の振り返り、成果及び反省点等を記入

## 4 今後の方向性(事務事業担当課案)(PLAN)

### (1) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可

- 廃止     休止     目的再設定     事業統廃合・連携     事業のやり方改善(有効性改善)  
 事業のやり方改善(効率性改善)     事業のやり方改善(公平性改善)  
 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)

### (2) 改革・改善による期待成果

(廃止・休止の場合は記入不要)

		コスト		
		削減	維持	増加
成果	向上			
	維持			
	低下			

### (3) 改革, 改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策

- ・周知の方法、体育指導委員の協力体制、新種目の発掘
- ・解決には、PR方法(例えば体育指導委員の主導により参加者からの感想を聴取した広報紙を定期的に作成する)を改善する。